

5月11日

行者還岳

中田 繁男

山名	行者還岳		山行名	5月例会		
ルート	行者還岳東90番登山口→タイタン広場→奥駆道→天川辻→行者還小屋→山頂→タイタン広場→東登山口					
山行日	2019年5月11日(土)		天候	晴れ		
参加者	リーダー：中田繁男 サブリーダー：林一昭 男性：山下剛史 女性：徳田幸子、染矢つや子 合計：5名					
ルート概略図 	コースタイム					
	地名		時：分	地名		時：分
	京田辺市	集	7：00	行者還岳 小屋	着	12：15
		発			発	12：22
	行者還ロン ネル西口	着	10：00	行者還岳 山頂	着	12：25
		発			発	13：00
	90番ポスト 登山口	着	10：15	行者還岳 小屋	着	13：20
発		10：23	発		13：50	
タイタン 広場	着	11：08	登山口	着	15：10	
	発	11：13		発		
奥駆道出会	着	11：35	京田辺市	着		
	発	11：40		発	18：20	
山行報告 <p>山の名前が役行者が余りの嶮しさに怯んだと言われる伝説から付けられた名前が、皆さんの参加意欲を掻き立てないのでしょうか、参加希望が少なく、キャンセルもあり5名の参加でマイカー山行になりました。当日は快晴で山行には絶好の日和であり、参加された皆さんには十分に満足できたと思います。高速道路を使い近畿自動車から奈良に入り、溪谷の狭い道を90番ポストの東口登山口に到着。1台先約が駐車中で我々も同じ位置に駐車した。国道沿いから鉄の梯子階段を上り暫くして檜の巨木が見え始めタイタン広場に着いた。広場には名前の由来？マツダタイタントラックの残骸が打ち捨てられています。ここまで車で登れるのがスゴイ！しばらく登りが続き大峰山奥駆道の出会いに着く。この奥駆道を大昔に役行者等が修行のため駆け抜けていたと思うと考え深いです。</p> <p>大峰の山々が稜線伝いに景色が快晴で良く見えて鑑賞に浸る。普段では余り奥まで見えない大台ヶ原のドライブウェイが確認できます。しばらくはハイキングのような快適なルートを行くと天川辻、目の前に行者還岳が聳えています。ログハウスの避難小屋にザックをデポして山頂を目指します。北側に回り込み水源のルンゼを左に見て、期待している長ハシゴが延々と続きどんどん登り行者還岳の肩へ出る。奥駆道の踏み跡を行くとこんもり茂った山頂に着いた。期待のシャクナゲが茂るが蕾固く眺望はない。避難小屋まで引き返し昼食タイム。山頂で出会った4人のハイカーには若い人もいるらしいが、盛んにしんどいしんどいを繰り返して、我々を元気で羨ましいと連発！！帰りも同じコースなので健脚メンバーの我々5人は一機に下山開始した。2時間かかったコースを1時間20分で登山口に到着です。今回はツツジ、シャクナゲ等の大群落の花々を期待していたのですが時期が少々早すぎました。次回に持ち越しです。</p>						
ヒヤリハット						

新緑の行者還岳

6.7年前 山友とテントを張り1日目「行者還岳」2日目「八経ヶ岳」を歩いた。
昨年、9月の台風で近畿地方の山々は強風にあおられ背の高い樹木は軒並み根こそぎ倒れた。
今日の山も頂上近くは長い年月風雨に耐えてきたが無残な姿になっていた。

「今日は暑くなるよ」CLの声。

予定通り行者還トンネル東口90番に車を止め、急な階段からスタート。いきなりの急登を頑張った先には巨木の檜 木陰で小休止 今日休憩は陽の当たらない場所を探してしまう。ほどなく「タイタン広場」名前の由来はその場所に止めてあるマツダのトラックの名前からとったとか・・・ほんとうなのか？少々信じ難い話のように思えた。緑が綺麗なコバイケイソウ？しっかりと花芽をつけた山シャクヤクが次から次と・・・登りつくと大峯奥駈道と合流、短いアップダウンを繰り返し2階建の大きなログハウスの避難小屋に到着。正面には岩肌を見せほぼ垂直に立ち見るからに手強そうな・・・進んでみると右方向から回り込むのでそんなに急な登りではなかった。登山道両脇にはまだ固いが花芽をつけた「石楠花」が、これもあと2週間くらい先かな？ 頂上からの眺め無し。ビール缶を手に笑顔満載でいる男性二人に集合写真をお願いした。危険な箇所は小屋から頂上に向かう途中で崩落した所に木の階段。石が落石しそうで下段時には注意をしながらゆっくりと・

好天で新緑の濃淡が素晴らしい！大峰山系360度 大パノラマ 満喫させてもらった。

ずいぶん前 山友会男性数人がシュラフ・食料等担ぎ「大峰奥駈道縦走」したのを思い出しました。女人禁制区域の為女性はお呼びでなかったのです。皆さん高齢で退会されました。

トンネル西口には多くの車が止めてあったが、「行者還岳」ピストンで出会った人は10人にも満たなかった、たぶん八経ヶ岳・弥山に登られたのでしょうか！！

山下氏の高級車はゆとりあり、静かで振動少なく贅沢なドライブをさせて貰った。

年長の林氏は年齢を感じさせない健脚。お若い時から鉄塔の仕事に従事され基礎体力がついたそうです。

(染矢 つや子)

